

平成29年8月12日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるカレニア ミキモトイが最大17.8細胞/ml(香川県の場合、注意報:10細胞/ml、警報:500細胞/ml)、確認されました。、現在の細胞数は低水準ですが、今後の状況によっては細胞数の増加の可能性も考えられるため、引き続き海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう注意をお願いいたします。

また、ヘテロシグマ アカシオが最大で4.2細胞/ml確認されました。

貝毒プランクトンについては、アレキサンドリウム属が最大で0.14細胞/ml確認されました。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)			
田ノ浦 (別図⑧)	0.0	29.1	28.6	6.2	0	4.2	0
採水時間 9:00 透明度 -m	3.0	28.4	33.7	4.4	5.0	0	0
藻津定点 (別図⑨)	2.0	28.2	33.5	6.7	0	0.7	0
採水時間 9:20 透明度 -m	10.0	26.6	34.1	5.4	0.18	9	0.14
宇須々木 (別図⑩)	6.0	27.3	34.1	5.2	17.8	0	0
採水時間 9:34 透明度 -m							
池島	5.0	27.5	34.0	5.2	0.02	0	0.07
採水時間 9:49 透明度 -m							
片島 (別図⑦)	4.0	28.0	33.8	4.9	0	0.6	0
採水時間 9:52 透明度 -m							